



つ な ぐ

令和6年12月 No.2
発行：松ヶ枝地区
小中一貫教育推進委員会

中1ギャップ解消のためのアンケートより

松ヶ枝地区小中一貫教育推進委員会では、中学校1年生を対象に中学校生活についてのアンケートを実施し、結果を小学校の児童や保護者にお知らせする取組を行っています。これは、小学校から中学校への進学において、学習や生活が新しい環境に移行する段階で授業についていけなかったり、不登校やいじめが起こったりする、いわゆる「中1ギャップ」の解消を目指したものです。

アンケート結果は、小中学校の教職員で共有し、児童生徒が安心して通える学校づくりに生かしていきます。また、このアンケートを通して、中学生は自分の生活を振り返り今後の生活に目標を持てるように、小学生は見通しや希望をもって中学校に進学することができるようになることも期待しています。

質問1. これまでの中学校生活の中で、目標や頑張った(頑張っている)ことを教えてください。

学習	★ その日授業で学習したことを家に帰ったときに復習するようにしている。	★ 高校受験に向けて、一つひとつの教科で学び残しがないようにすること。
学校生活	★ 色々な人と交流をするようにして積極的に話しかける。	★ 友達の気持ちを理解したり思いやりを大切に頑張っている。
部活動	★ 陸上が好きなので部活はもちろん体育を頑張った。	★ 放課後1つでもシャトルが打てるように練習を頑張りました！！
その他	★ 勉強と部活に全力で取り組む。そのために規則正しい生活も心がけています。	★ 友達の気持ちを理解したり思いやりを大切に頑張っている。

小学校で培われた学習習慣を基に、中学校でも自主学習や目標設定を習慣化している様子が見えます。学習に対する主体性、多様な活動への積極的な参加、そして人間関係の構築を意識しており、これは小学校からの継続的な学習習慣や、中学校での探究学習やキャリア教育の影響と考えられます。

質問2. 中学校生活のよいところを教えてください。(楽しいこと、うれしいこと等)

校風	★ 親しみやすい先生方が多いこと。 ★ 行事を通して人との交流ができること。	★ 学年関係なく先輩方が優しく接してくれること。
学習	★ 勉強は難しいが、理解できるととても楽しいところ。	★ 宿題がないため自分のやりたい教科の勉強ができること。
休み時間	★ 友達と自由に話したり遊んだりできる時間が楽しいこと。	★ 毎時間授業が終わったら10分間休み時間があること。
人間関係	★ 友達と一緒に成長できていること。	★ 友達との交流がより親密になったこと。

小学校からの中学校への移行において、生徒たちがスムーズに学校生活に適応し、学習意欲を高めていることがわかります。これは、児童生徒の成長段階に応じたきめ細やかな指導や、小中学校間の連携による学習の円滑な接続が効果を発揮していると考えられます。また、生徒たちが人間関係の構築を重視している点から、異学年間の交流や、教職員間の連携が、生徒たちの心の成長を促していることがうかがえます。

質問3. 中学校に進学して、「小学校とちがうなあ。」と思ったことを教えてください。

学習	★ 学習が難しくなったのと、計画を立てて行動しないといけない(したほうがいい)こと。	★ 1時間の授業が45分から50分になったこと。授業の難しさ。
学校生活	★ 小学校の運動会と、中学校の体育祭の雰囲気が全然違うこと。	★ 中休みがないこと。 ★ 結構性格が変わった人がちらほら。
その他	★ シャープペンシルが使えるようになったこと。	★ 昼休み後の授業の始まりが、小学校は1時半で、中学校はそれより遅くて驚いた。

学習内容が難しくなり、自主学習の重要性を認識している生徒が多いです。また、時間管理や自己管理の必要性についても言及されています。小中間の接続時に、学校生活や学習へのよいねいなフォローを継続していくことが重要と考えられます。

質問4. 中学校生活と小学校生活との違いで困った(困っている)ことや戸惑った(戸惑っている)ことがあれば教えて下さい。

学習	★ 約1時間の授業に対して覚えることが多すぎる ところ。	★ 1回休むと復習しないと大変。
学校生活	★ 座りすぎて腰が痛い。	★ 5時間授業が少ない。
その他	★ 「特になし」という回答が多数	

中学校の学習内容の量や難易度などに戸惑いを抱いている生徒がいることがわかりました。これは、小学校から中学校への移行期において、学習習慣の転換が求められることなどが原因と考えられます。一方で多くの生徒が「特になし」と回答しており、スムーズに中学校生活に移行できている様子もうかがえます。

■今後の小中一貫教育の取組 ～アンケートの結果を受けて～

今回のアンケートでは、昨年度小学校を卒業した現中学1年生が、自分たちの経験を踏まえ、後輩たちがスムーズに中学校へ進学できるよう、たくさんの助言をしてくれました。小中学校の教職員も子どもたちのこうした声に応えるとともに、松ヶ枝中学校区で9年間学ぶことができてよかったと思ってもらえるよう、連携を深めてまいります。

3学期は、今年度の取組を評価し、次年度への改善に生かしていきます。今後とも小中一貫教育の取組について、ご理解とご協力をお願いいたします。

小中一貫教育 2学期の取組

■中学校英語教諭による授業参観、小学校教諭との情報交流

松ヶ枝中の秋田谷教諭、木露教諭が小学校の外国語活動の授業を参観した後、中学校の英語教育や小学校の外国語活動の実際について情報交流をしました。

■中学校体験入学

山の手小の6年生が松ヶ枝中に行き、授業の様子を参観しました。また、生徒会書記局作成の学校説明スライドをもとに学校生活について説明を受けたり、質疑応答を行ったりしました。

■部活動体験会

山の手小の6年生の希望者が松ヶ枝中に行き、中学生に説明を受けながら部活動を体験しました。バレーボール・バドミントン・陸上競技部の体験は小中のPTAと連携して休日に、文化・美術部の体験は平日に実施し、大変楽しそうに参加する児童の姿が見られました。

■研究授業交流

松ヶ枝中・山の手小でそれぞれ実施した公開研究授業を互いに参観しました。互いの授業を見ての気づきを、次年度の教育活動に生かしてまいります。また、中学校ではよりよい授業作りのために、今回公開授業を担当した本間教諭の授業の様子を動画にして小中間で共有し、意見を募る取組も行いました。

■第2回特別支援教育交流会

特別支援教育に関わる小中学校の全担当者が集まり、情報共有を行うとともに、特別支援教育のあり方について話し合いました。

■いじめ防止サミット

小中学校の児童会と生徒会がオンライン会議で「寄り添い、思いやる」をテーマに、いじめを防止するためにできることや今後の取組について話し合いました。



小学校の小中一貫掲示板にて、中学生が制作した作品の写真を掲示しています。

3学期の主な活動予定	
1月	年度末反省
2月	第2回小中一貫教育推進委員会全体会・一斉部会 小学校スキー授業補助 小学校卒業生の引継ぎ 小中合同学校運営協議会
3月	小中一貫だより№3 発行